

教 科	地歴公民	科 目	日本史B
履修学年	2 学年 (MA)	履修規定・週時間	3 単位
教 科 書	高校日本史B (山川出版社)	副 教 材	ビジュアル版日本史図 録 (山川出版社)
<p>1. 教科・科目の目標</p> <p>目標は、単なる暗記教科というだけではなく授業を通し、古きを知ることで現在の自分の生活にどう生かすかである。古来の先人の知恵、思いを私たちはどう未来につなげていくのか、「温故知新」の精神について触れ、それを中心に考察、展開する。</p>			
<p>2. 学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料（史料）等を使用し、興味を引き出すとともにその時代ならではのエピソード等を含めて学習展開を行う。 ・その時代の背景、制度、文化、政治、暮らし、習慣など理解できているか生徒自ら考え、広い視野で物事を捉えられるような授業を目指す。 <p>< 1 学期 ></p> <p>原始・古代 （古代社会の形成、律令国家の形成、貴族政治の展開）</p> <p>< 2 学期 ></p> <p>中世 （武家社会の形成 武家社会の成長）</p> <p>< 3 学期 ></p> <p>近世 （幕藩体制の成立 幕藩体制の展開）</p>			
<p>3. 学習方法</p> <p>①授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の音読、ノートへの板書を意識させる。 ・地域・場所などより明確にするため自身で用意した地図（略図）の配布や書き込みの資料（史料）や教科書の資料（史料）等を使い視覚でのアプローチを心がける。 ・重要語句等は教科書に線を引かせる。 ・重要な部分は授業内で繰り返し復習や問題等を解かせ、学習内容の定着を目指す。 <p>②その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考査前は重要語句を主に覚えるためのプリント等を行う。 			
<p>4. 宿題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要語句を覚えるためのプリント等、授業内でできない場合宿題とする。 			
<p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価方法・・・考査の点数の他に、出席点・提出点・授業態度などの平常点を加味する。 			